



農地利用図の作成に水土里情報を活用した事例を紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネットいわて、市町村

取組概要

【内容】

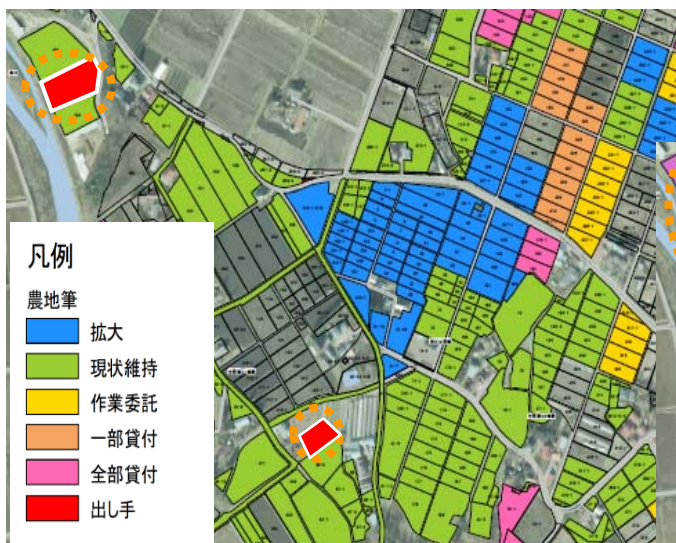
水土里ネットいわてが運用する岩手県版水土里情報システム(クラウド)に農地基本台帳や営農意向調査、営農計画書の情報を入力して、人・農地プラン(地域農業マスタープラン)の農地利用図を作成。集落座談会に図面を持参して、プランの見直しや農地の貸し借り等の話し合いに活用。

【経緯】

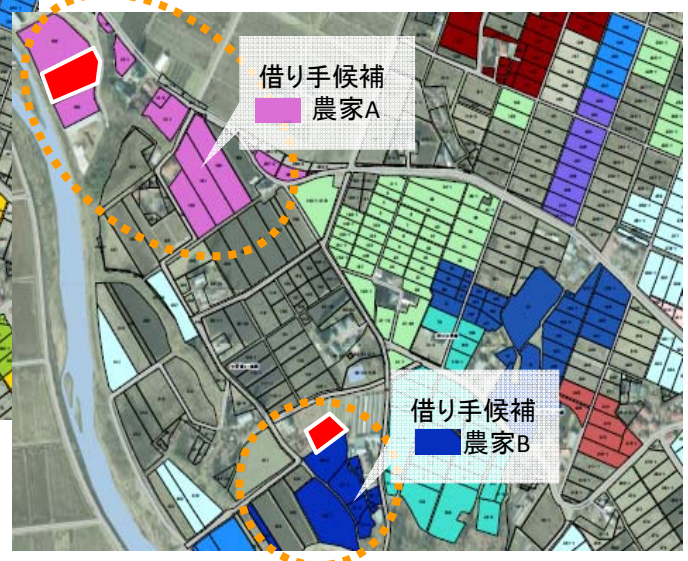
地域の話し合いに航空写真を背景とした図面を用いると、「農家から情報を得られやすく農家の理解を得ながら農地の貸し借り協議を進めるのに有効」とのことから、市町村が図面を作成することを目的に平成23年から岩手県版水土里情報システムを活用。

岩手県版水土里情報システムは、1つの地図情報を複数のパソコンで作業し、共有することが可能であるため、各部署間での情報共有が容易に実現。

営農意向で色分け



経営農地で色分け



期待される効果

- 1) 表示の切替えで効率的に数種類の図面を作成。
- 2) 航空写真や電子地図を組合せて地域の状況が伝わる図面を作成。
- 3) 地域の状況を踏まえたプランの見直しや農地の貸し借り協議が可能。

営農意向



図面を囲んだ地域の話し合い



作付



経営農地



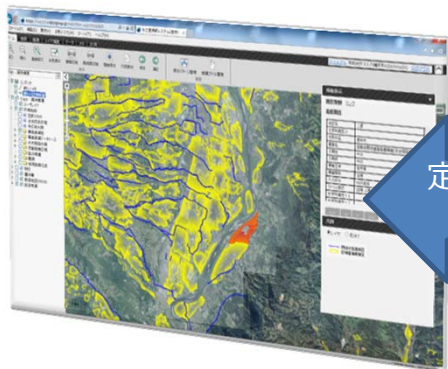
手書き用白図



今後の活用予定

岩手県版新水土里情報システムや衛星(航空)写真を活用し、多面的機能支払いの各種書類や図面作成に活用するほか、タブレットを活用した転作確認などを検討。

①岩手県版新水土里情報システム



②衛星(航空)写真



③現地調査タブレット



■お問い合わせ先

岩手県土地改良事業団体連合会 水土里情報・資源保全推進室 019-631-3207(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添) 03-6744-2212(直通)